



KINAN HOSPITAL  
OFFICIAL INFORMATION PAPER  
September 1st.2015

ひき岩 (田辺市稲成町)

vol.42

# さざんくるす

市街地から5キロ程離れた丘陵地に、怪奇な形の岩山が並んでいます。100m足らずの高さの斜面が絶壁となっていて、たくさんのカエルが天を仰いでいるような形から「ひき岩」と呼ばれるようになりました。

## 乳腺専門医を取得して

平成27年より日本乳癌学会乳腺専門医になりましたが、今までの私の乳癌との係わり、専門医を目指した動機と専門医認定試験等についてお話したいと思います。

平成元年に大阪の日生病院外科に勤務となり、初めて乳癌手術の術者を経験しました。当時の手術は腋窩郭清を含めた乳房全摘術が主流で、時には大胸筋や小胸筋も合併切除していました。そこに超音波検査の重鎮の元外科部長の横井先生がおられ、乳腺エコーや穿刺吸引細胞診(FNAC)を学びました。平成6年からの大阪大学院生時代にはDutyとして乳腺エコーとFNACのみを行っていました。平成12年に留学先から富田林病院外科に勤務となり、そこで乳腺専門の荻野先生と出会い多数の乳癌症例の経験をし、乳癌に関する学会発表もさせていただきました。そこでの手術は適応があれば乳房全摘術ではなく乳房温存術+放射線治療が選択される時代で、腋窩郭清は必須でした。平成15年11月に当院外科に勤務となりましたが、当初は消化器外科や内視鏡外科手術に興味があり乳癌症例はどちらかといえば避けていました。平成18年に日本乳癌学会に入会、平成20年に



外科部長

山邊 和生

検診マンモグラフィ読影認定を取得しましたが、今後役立つことがあるかもしれないくらいの気持ちでした。しかし、長岡副院長以外に乳癌に興味のある外科医がいなくなり平成23年より全ての乳癌症例の主治医をすることとなりました。乳癌症例を数多く経験しますと徐々に乳癌に興味がわいてきました。現在の乳癌手術は縮小化の流れにあり、センチネルリンパ節に転移がない場合やあっても0.2mm以下の微小転移のみの場合には腋窩郭清を省略してもよい時代となっています。またハーセプチンに代表される分子標的薬や化学療法、ホルモン療法等の薬物療法や放射線療法の進歩で、原発性乳癌の5年生存率は90%強と他癌に比べて良好な時代となっています。乳癌の臨床に携わ

ってみると乳癌患者やその支援組織の方々の乳癌治療に関する知識や情報は専門的で、時には質問に窮する場面もありました。また当院でも標準に近い乳癌治療を行っているつもりでしたが、専門医のいる他病院への転院を希望される患者が数名おり、悔しい思いもしました。そこで乳癌を担当する限りは、基礎からもう一度乳癌疾患を勉強し直し乳癌診療に当たる事を誓いました。平成24年に乳癌学会認定医を取得しましたが、専門医を取得するためには100例の乳癌手術症例と学会発表や論文を含めた業績が必須でした。さらに疫学や予防、検診や画像診断、病理診断、薬物療法、外科療法、放射線療法や学会等で話題になっている最新の知見の知識が必要でした。その対策として、日常の乳癌診療をこなすと同時に、乳癌診療ガイドラインと日本乳癌学会が編集した乳腺腫瘍学を教科書に専門医試験の過去問を勉強するとともに、乳癌学会教育セミナーや乳癌に関する講演会等にもできるだけ参加しました。専門医認定試験はマークシート方式の筆記試験(基本40題、専門25題)と面接試験からなり、東京で行われました。筆記試験では過去問と全く同じ問題はほとんど出題されず難しく自信はありませんでしたが、専門医(1329人目、合格率82%)を取得することができました。今年51歳にして専門医を取得できたわけですが感じたことは、新たな事に挑戦するのに年齢は関係ないこと、自分自身の自信になりモチベーションが上がること、周りから少し違った目で見られること、今回の様にサザンクロス原稿の依

頼も来ること等です。専門医のような専門的な資格を苦勞して取っても給料は上がりず、しんどいだけだという意見もありますが、資格を持っている人はしっかりと勉強をしているわけですからやっぱり評価されます。評価されると思っています。特に若い先生方や医療従事者の方は専門的な資格を目指していただきたいと思います。乳癌に関するエビデンスに基づく治療の変化は早く、2年に1度ガイドラインが改訂されるほどです。今回の試験で得た知識は油断するとすぐに古いものになる可能性があります。今後も乳癌診療に役立つ知識を吸収し臨床に役立てていきたいと思っています。また乳癌診療は関連する分野が多岐にわたり、チーム医療が特に必要な疾患です。医師や歯科医のみならず、看護師、薬剤師、放射線科技師、検査技師、理学療法士、心理療法士、健診部のスタッフ等の協力が必要です。今後ともよろしく願いいたします。最後になりますが、乳癌は現在では12人に1人が罹患する病気です。また日本の乳癌検診受診率は30-40%と低く、現在でも乳癌が自壊したり多発性転移を伴ってから当院を受診される方がおられます。乳癌は早期に発見されればほとんどが治る病気ですので、今までに乳癌検診を受けたことがない40歳以上のスタッフやその御家族の方は少なくとも2年に1回は乳癌検診を受けられることをお勧めします。

## 医師の紹介



内科  
辻 聡一郎

今年(平成27年)度より、非常勤(週1回水曜午後)として紀南病院でリウマチ・膠原病内科の外来をさせて頂くことになりました辻 聡一郎(つじ そういちろう)と申します。

平成11年金沢医科大学を卒業後、東京医科大学内科学第三講座でリウマチ・膠原病を学び、平成22年から大阪南医療センター リウマチ・膠原病・アレルギー科に勤務させて頂いております。主な診療は関節リウマチをはじめ膠原病です。リウマチ・膠原病と一言でいっても関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、強皮症などいずれの疾患も多臓器にわたり障害呈する全身性の疾患です。年少・青年期から発症する疾患もあれば、高齢になって発症するものもあります。年齢や生活環境などその時々々の病状・病勢を判断し、最適な治療を提案していくことが必要であると考えています。様々な診療科、また地域の諸先生方やコメディカルとの連携を持ちながら患者さん一人ひとりにあった診療を目指していければと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひします。

平成27年4月より辻先生が非常勤医師として、毎週水曜日の午後診察をされるようになりました。当院でリウマチ・膠原病の専門的治療が出来るようになりました。院外からの紹介につきましては、毎週1名の紹介患者枠を設けておりますので、リウマチ・膠原病治療につきましては是非ご相談頂ければと思います。なお、紹介患者さまにつきましては当院の地域医療連携室を通じ紹介された患者さんに限らせて頂きます。紹介状をお持ちでも直接当院に来院された患者様につきましては診療できませんので、必ず当院の地域医療連携室を通じてご予約下さい。



## 研修医日記

研修医  
玉川 友樹



研修が始まって早くも4ヶ月が経ち、気がつけばまるで成長していないのではないかと焦りを感じる日々を過ごしている僕ですが、4ヶ月経っても人見知りを発揮してあまり交友関係を広められておらず、こいつどんな奴なんやろって思ってる方も多いと思います。

いや、そんなに誰も興味ないことは重々分かっておりますが、せっかくサザンクロスに自分のことを書けるといいうありがたいのか面倒なのか分からない機会を頂いたので、少し自己紹介をさせていただきます。

僕は研修医1年目の玉川友樹と申します。出身は大阪の東大阪市出身で、大阪大学出身のエリート研修医です。大学も現役で合格するというエリートっぷりを発揮した僕でしたが、その結果調子に乗ってしまったエリート大学生の僕は、入学後遊び呆けてしまい阪大ではそうそうしない留年をしてしまい、見事ポンコツ大学生の仲間入りを果たしたのが二回生の僕の誕生日でした。記念すべき20回目の誕生日に僕はF(不可)という評価を受け、できそこないの烙印を押されたわけです。

それはさておきまして、留年後もやはりまるで成長できなかった僕は、部活のバスケと飲み会を繰り返す毎日を送るゴミクズ大学生と化し、何の生産性もない底辺の存在となっておりますが、さすがにそろそろなんかせな人生もったいないなと思い、海外旅行も満足に行ったことがなかった僕は、4回生の春休みに東南アジア一人旅に行くことにしました。

なんでその発想なのという気持ちは置いて頂いて、このまま医者になることに少し疑問を抱いていた僕は、兼ねてよりやりたかったバックパッカーをして自分探しをしようと思ったわけです。当然、東南アジアに行っても答えなんてあるわけないのですが、本当は単純に一人旅が面白そうだったという理由だけで行きました。

東南アジア旅は、暑くてきたなくてご飯が口に合わない修行のような旅でした。安宿に泊まったせいでエアコンのない40℃の世界と、常に足元が土まみれの状態、あげくには嫌いなパクチーが主食並みに使われている食事に僕の体重は激減し、日焼けし、帰国したときには精悍な顔つきになったねと言われました。

そんなろくでもない旅でしたが、色んな方や色んな考えと触れ合えたことはすごく楽しくて、自分の考え方や価値観が広がったように思います。気のせいかも知れませんがそう思うことにしています。その後もアイスランドやヨーロッパを回ってみたりしてみましたが、それぞれの国で違った楽しさがあり、時間があればまた行こうと思っています。

本当にろくでもない内容をつらつらと書いてしまいましたが、研修は真剣に、積極的に取り組んでいきたいと考えており、より多くのことを学び、経験したいと考えております。皆さんには色々ご迷惑おかけするポンコツ研修医ですが、これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

## 学校だより

### 防災訓練 (7月24日)

今年は、台風の影響もあり、日程が1週間遅れることになりましたが、無事、夏季休暇前に防災訓練を田辺消防署の消防士さんに協力をして頂き、実施することができました。地震や津波を想定し、より高いところへ避難するため、学校前の坂を登り高台のマンションの中庭前へ避難しました。その後、1年生を中心に水消火器を使用して消火訓練を実施し、学生全員で地震後の火災を想定した煙体験を行いました。学生は初期消火活動の大切さや消火、通報、避難など防災意識の向上につながったと思います。

### 学校説明会 (8月4日)

今年も、夏休み期間中の学校説明会が開催されました。高校生や社会人、保護者の方々が参加されました。参加者は学校概要や学校生活など学校案内や募集要項の説明を聞き、その後、校内の見学を行いました。今後の進路決定の参考になってもらえればと思います。



坂口耳鼻咽喉科院長

坂口 幸作

――耳鼻咽喉科を選択した理由はなんですか？

中学時代から蓄膿症があり、なじみのある診療科でした。また大学時代一番輝いている教授が耳鼻科の教授であったことから耳鼻咽喉科を選択しました。

田辺市内で開業の池畑先生や乾先生も紀南病院で常勤医をされていましたが、その後、大阪大学からの非常勤医師の派遣となっていました。昭和61年春から平成元年12月まで私が紀南病院で常勤医として勤務しその際常勤医3名体制とした経緯があります。そう考えると、紀南病院に貢献できたと考えています。

――坂口耳鼻咽喉科の特徴についてどのようなものがありますか？

大学では癌を中心に診療していた経緯から、見逃してはならないという気持ちで診療を行っています。発見した際は、紀南病院にお願いをしています。

また、アレルギー診療については丁寧な診療を心懸けています。

私は紀南病院に着任してから現在に至るまで毎日花粉の観測を行っています。(紀南病院は辞めてしまったようであるが)

現在、杉花粉がなければ耳鼻咽喉科医院の経営は成り立たないのが現状となってきています。

過去40～50年前には、花粉症が子供に発症するとは考えられていませんでしたが、今では1歳台という早い時期から発症しています。原因として確定されたものはありませんが、戦前植えられた杉が多くなっていることや、結核(感染症)・蓄膿症・寄生虫が減ると花粉症が増えるという逆相関データがあります。また抗菌薬(抗生物質)の過剰使用や食生活や住宅の欧米化に伴うとも考えられています。

――医院のこれからについて

若い頃は、診療をしながら紀南病院での手術もお手伝いに行っていました。年齢を重ねるにつれて患者さんが来てくれる限り診療を行い、細々とやって行ければと考えています。

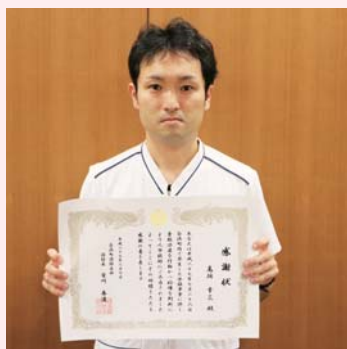
紀南病院は耳鼻咽喉科常勤医のいる和歌山県の南の砦であるため、地域住民の為にも常勤医体制を堅持して頂き、互いに連携しながらやって行ければと願っています。

――医師会長を退任されて何か変わりましたか？

医師会には開業時から参加し、平成4年から理事として23年間続けてきました。退任してからは、ポカンと穴のあいたような気がしていましたが、退任後2～3ヶ月経過し少しは慣れてきたような気がします。後任の水本先生にはご苦労様と言いたいです。

――今後も今まで同様お互いに連携を取り合いたいと思っています。お体を御自愛なさり診療に励んで下さい。今後とも宜しくお願い致します。

当院職員が人命救助！！ 白浜町消防本部から感謝状



当院7階西病棟の高垣幸三看護師が白浜町の町営プールで人命救助をしました。これは、7月26日に白浜町の町営プールで男児(4才)が溺れ、男性が心臓マッサージをしていたところに、たまたま居合わせた高垣看護師がそれを引き継いで、心肺蘇生をおこなったものです。高垣看護師の心肺蘇生で男児の心拍、脈拍が回復し、その後男児は救急搬送され、2日後に無事退院されました。後日、男児の母親から感謝の電話があり、8月7日に白浜町消防本部長から高垣看護師に感謝状が贈呈されました。

# 病院のまど

## 第54回市民健康講座について

誰でもウンチをします。身体からの大きな便り、それが大便です。規則正しい生活のリズムが快便となります。慢性便秘に悩んでいる人は、ほぼ痔になったことがあります。おしりの病気を予防するために、生活習慣と痔の関係について学びませんか？

日時 平成27年9月13日(日)  
午後2:00~3:00

演題 慢性便秘とおしりの病気

演者 藤田 繁雄(紀南病院外科部長)

会場 紀南病院 3階講堂

## 編集後記

今年は冷夏かな?と思いきややっぱり暑い。この夏は、なでしこJapan準優勝の盛り上がりと台風襲来の悲劇。我が家は、雨漏りに見舞われバケツを受ける始末でした。

さて、第70回の和歌山国体が、いよいよ開催されますね。道路も施設も整備されました。さあ皆さん お・も・て・な・し 致しましょう。(C.S)

## NeW Face さ〜ん

《医師》

- ①出身地
- ②趣味(特技・得意技)
- ③一言アピール(敬称略)



むらかみ きみひで

《整形外科》村上 公英

①紀の川市②今はないですが、ゴルフを始めようと思っています。③紀南の地で働くのが初めてで不安でしたが、患者さんも病院のスタッフの皆さんも温かい人達が多くて安心しました。今後ともよろしく願い申し上げます。



《こころの医療センター

精神神経科》

おおほし ゆうじ

大星 裕司

①和歌山市②食べ歩き③美味しいお店御存知の方教えて下さい。

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	: 〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	: 〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	: 〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	: 〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	: 〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	: 〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	: 〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	: 〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	: 〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

**SEIKO MEDICAL**  
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市築港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町 2744 番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市峰伏 20 番 22 号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺 768 番地の 13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市荒崎町 56 番地の 4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810